

株主優待制度について

2019年3月末時点の優待対象株主様のポイントの取得期限が迫っています。

2019年12月27日昼12時まで

必要な物

7月下旬に郵送した「株主優待のご案内」をご確認ください。

1 株主番号

2 クーポンコード

上記をご用意いただき、「株主優待専用サイト」よりお受け取りください。



<https://video.crank-in.net/shareholder/>

お受け取りになられた株主優待ポイントは、取得した月から12ヶ月後の末日までご利用いただけます。

株主優待の内容

クランクイン!ビデオ クランクイン!コミック



映像配信サービス「クランクイン!ビデオ」および、電子コミックサービス「クランクイン!コミック」でご利用可能な株主優待ポイントを贈呈します。(1ポイント=1円相当)

	継続保有期間	
	1年未満	1年以上※1
保有株式数	1,000株以上 5,000株未満	2,000ポイント 2,500ポイント
	5,000株以上	4,000ポイント 6,000ポイント

※1. 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載され、かつ前年の3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に連続して、同一株主番号で1,000株以上または、5,000株以上で記載された株主様といたします。
 ※2. 株主優待ポイントをご利用いただくためには、「クランクイン!ビデオ」または「クランクイン!コミック」の会員登録が必要となります。いずれかの会員登録によって、ビデオ・コミック両方のサービスをご利用いただくことができます。

コーポレートサイトのご案内

最新ニュースはもちろん、プレスリリース、投資家情報などを随時更新しています。また、個人・法人向けサービスやグループ会社サイトとリンクしていますので、必要な情報を素早く閲覧することができます。ぜひご利用ください。

ブロードメディア



さらに便利に。スマートフォンでもご覧いただけます。当社ウェブサイトはスマートフォン・タブレットにも対応しています。外出時にも当社情報の入手が可能です。

<https://www.broadmedia.co.jp/>



会社概要 / 株式情報 / 株主メモ (2019年9月30日現在)

会社情報

社名	ブロードメディア株式会社
英文社名	Broadmedia Corporation
設立	1996年9月5日
資本金	3,457,496千円
従業員	46名(連結417名)
URL	https://www.broadmedia.co.jp/

取締役および監査役

代表取締役社長	橋本 太郎	常勤監査役	古屋 俊一
取締役	久保 利人	監査役	北谷 賢司
取締役	嶋村 安高	監査役	佐藤 淳子
取締役	押尾 英明	監査役	山田 純
取締役(非常勤)	桃井 隆良		
取締役(社外)	関 伸彦		

※ 古屋俊一、北谷賢司、佐藤淳子および山田純は、社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	128,000,000株
発行済株式の総数	79,147,323株
株主数	14,508名
※発行済株式の総数には、自己株式(1,157,427株)を含んでおります。	

所有者別株式分布

	持株数(千株)	出資比率(%)
個人その他	62,137	78.51
証券会社	5,586	7.06
外国人	8,786	11.10
その他国内法人	2,159	2.73
金融機関	476	0.60

※個人その他には、自己株式を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告方法	電子公告 (当社ホームページに掲載) https://www.broadmedia.co.jp/ ただしやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載を行います。
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社証券代行部
各種事務手続き	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324 (通話料無料)



The Second quarter business report

株主通信

第24期 第2四半期決算のご報告

2019.4.1 → 2019.9.30

BROADEN THE BORDERS OF MEDIA

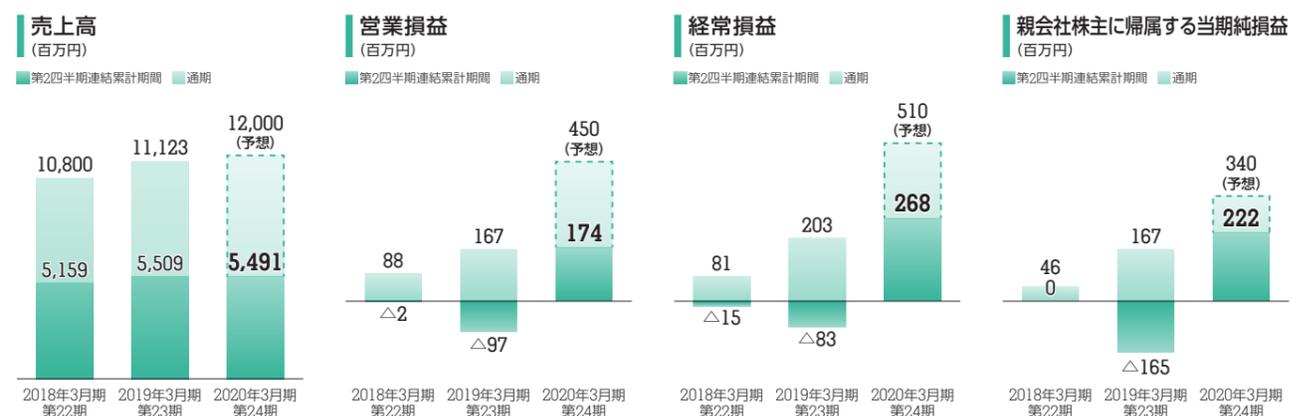
ブロードメディア株式会社

(証券コード:4347)

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業へのご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は、第24期第2四半期の決算状況をご報告するとともに、経営および事業の進捗状況を説明させていただきます。ご一読のほど、よろしくお願い申し上げます。

2020年3月期 第2四半期 決算ハイライト



セグメント別の業績





トップインタビュー

組織の壁を壊して イノベーションを 促進してまいります。

代表取締役社長 橋本 太郎

Q 2019年度上期の業績について

前年同期と比べて、売上高は同水準となりましたが、利益は順調に伸ばすことができました。セグメント毎に見ると、「コンテンツ」は、ルネサンス高校グループの入学生徒数が過去最高となって昨年に引き続き収益をけん引しています。また、デジタルメディアサービスも、エンタメ情報サイト「クランクイン!」「クランクイン!トレンド」の広告収入や動画配信サービス「クランクイン!ビデオ」が順調に売り上げを伸ばして黒字転換しました。「放送」は、経営改革を進めることで増益となりました。「技術」も前年に引き続き好調です。CDNサービスに加えて新たなソリューションやサービスがご好評をいただいております、収益を押し上げてくれました。

経常利益は営業利益の増加にもなって増益となりました。純利益も税金の還付があったことや、損害賠償請求訴訟の一部解決金を計上したこと等によって増益となりました。

Q 通期業績予想を上方修正しました

おかげさまで、上期は想定を上回って好調に推移しました。下期も前年並みの利益を出せると見込んでいますので、営業利益を前回予想に100百万円プラスし450百万円に上方修正しました。また、経常利益と純利益については9月30日時点で上方修正をしましたが、今回の営業利益の上方修正に合わせて、経常利益・純利益も再度上方修正を行いました。

(単位:百万円)	2019年度 第2四半期 (実績)	期初予想 (5月10日発表)	前回予想 (9月30日発表)	修正予想 (10月30日発表)	差異
売上高	5,491	12,000	12,000	12,000	→ 0
営業利益	174	350	350	450	▲ 100
経常利益	268	360	410	510	▲ 100
純利益	222	180	270	340	▲ 70

Q 経営統合の一番の目的とは

かねてより100%子会社6社を合併することをお伝えしておりましたが、2020年4月1日付けで当社本体に吸収合併することにしました。これまで各社それぞれ個性のある事業を行ってききましたが、これからは組織の壁を取り払い、異なる事業を掛け合わせることでイノベーションを促進し、新しい事業を創出してまいります。

また、この合併にあわせて、組織体制やセグメントの変更等も検討しています。人事交流や組織を越えて対話できる機会を増やして、個々の事業の接点となる人材の育成



にも注力していく考えです。既存の境界を越えて業務を推進できる攻めの経営体制を構築してまいります。

さらに、近年取り組みが広がっているESG(環境・社会・ガバナンス)やSDGs(持続可能な開発目標)についても、今後の経営戦略に組み込むことで、当社の持続的な成長に繋げてまいります。

Q 5G環境への対応について

いよいよ2020年から日本でも5Gの本格的なサービスが始まります。当社はネットワーク事業者にクラウドゲームサービスを提供している強みを活かし、5G環境への対応準備を進めております。eスポーツとクラウドゲームという異なる事業部門の連携が、5Gによって相当数進展するこ

とを期待しています。

Q 株主の皆様へ

業績は順調に回復していますが、現時点では利益剰余金がマイナスとなっていることから、誠に遺憾ではございますが、2019年度の中間配当を無配にさせていただきました。また、期末配当につきましても無配とさせていただきます。まずはしっかりと利益を出して、早期の株主還元を目指してまいります。

当社は引き続き独自性の高い事業の育成によって、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

トピックス

教育×ゲーム 独自のeスポーツ事業を展開

ルネサンス高校グループは、eスポーツを教育事業の1つの展開として進めています。今期は7月にフランス・パリで開催された『第20回 Japan EXPO』と、9月に開催された『東京ゲームショウ2019』に出展しました。これまで培ってきたクラウドゲームが5Gの普及によって飛躍的に伸びるのと時を同じくして、非常に教育効果の高いeスポーツコースが成長してきています。今進めている、グループ会社の壁を取り払って事業部門間の協力関係を推進する動きの、1つの象徴的な取り組みとなるように今後の展開を進めてまいります。



諏訪敦彦監督最新作、 映画『風の電話』が2020年1月24日(金)より全国ロードショー

岩手県、大槌町在住のガーデンデザイナー・佐々木格氏が死別した従兄弟ともう一度話したいという思いから自宅の庭に設置した〈風の電話〉は、東日本大震災以降、「天国に繋がる電話」として人々に広まり、3万人を超える人々が訪れています。映画『風の電話』は、この電話をモチーフにした初めての映像作品です。

監督はフランスをはじめヨーロッパで圧倒的な評価を受けている諏訪敦彦。主人公のハルを、注目の女優モトロー世理奈が演じ、西島秀俊、西田敏行、三浦友和ら日本を代表する名優たちが、彼女の熱演を温かく包んでいます。魂のこもった俳優たちの演技が胸を打つ本作は、2020年1月24日(金)より全国ロードショーいたします。